

団体・組織の概要

団体/会社名	特定非営利活動法人 百年の森づくりの会		
代表者	理事長 内藤勝久	担当者	内藤 勝久
所在地	〒330-0063 さいたま市浦和区高砂三丁目12-9 農林会館B1 TEL: 048-831-1469 FAX:048-831-1469 E-mail:info@100nen-forest.org		
設立の経緯 ／沿革	1997. 10 埼玉大学ワンダーフォーゲル部創部40周年の記念事業として埼玉の母なる川荒川の水源林にブナやミズナラなどの落葉広葉樹を植栽する植林ボランティア活動を開始。事業名を「百年の森づくり」と命名。 2000. 6 任意団体「百年の森づくりの会」を結成。OB会の事業を継承。 2008. 3 特定非営利活動法人「百年の森づくりの会」に改組。		
団体の目的 ／事業概要	水を育む山への恩返しを目的に、和名倉山を初めとする水源林での落葉広葉樹の植栽、下草刈、除伐などの作業、どんぐり拾いから育苗までの自前の苗づくりなどに取り組み、誰もが参加できる体制を整備。啓蒙活動として会報「和名倉百年の森」の年2回発行、ホームページの開設、10年誌の刊行、講演会の開催など。埼玉大学の環境教育、中学生荒川サミットなどの支援。荒川の本支流の水源林すべてに百年の森をつくる「百年の森づくり運動」を展開		
活動・事業実績 (企業の場合は 環境に関する 実績を記入)	1. 百年の森づくり (参加者数) (1) 第1号 2003. 10 和名倉山 (13) (2) 第2号 2005. 4 大血川大陽寺社叢林 (108) (3) 第3号 2006. 4 中津川山吹沢 (80) (4) 第4号 2007. 10 長瀬宝登山 (411) 2. 百年の森づくり運動 (1) 県立浦和高校同窓会 寄居町風布 (2) 県立熊谷高校同窓会 長瀬宝登山 (3) 県立浦和第一女子高校 寄居町風布 (4) ㈱ヤオコー 小川町 3. 講演会(開催回) (1) 田部井淳子(登山家)、坂本和彦(埼玉大学教授)(2) 西山賢一(埼玉大学教授)(3) 畠山重篤(森は海の恋人運動代表)(4) 伊藤弥八(山岳映画サロン代表)(5) 南 良和(写真家)(6) 藺田稔(秩父神社宮司)(7) 安田喜憲(国際日本文化研究センター教授)(8) 遠山 益(お茶の水女子大学名誉教授) 4. 広報誌「和名倉百年の森」 年2回発行第17号(09年4月1日予定)		
ホームページ	http://www.100nen-forest.org		
設立年月	年 月 *認証年月日(法人団体のみ) 2008年3月25日		
資本金/基本財産 (企業・財団)	円	活動事業費/ 売上高(H17)	円
組 織	スタッフ/職員数 10 名 (内専従 2 名) 個人会員 616 名 法人会員 35 名 その他会員(賛助会員等) 名		

政策のテーマ

環境特区を活用した国立公園の再生と山村の活性化

■政策の分野

- ・自然環境の保全
- ・持続可能な地域づくり

■政策の手段

- ・動植物の調査
- ・インフラの整備（事務局の設置・運搬用モノレールの敷設・林道の改修など）

団体名：特定非営利活動法人
百年の森づくりの会

担当者名：内藤勝久

■キーワード	環境特区	国立公園	山村の活性化	グリーンツーリズム	百年の森づくり運動
--------	------	------	--------	-----------	-----------

① 政策の目的

彩甲斐国立公園内にある和名倉山（2036m）は埼玉県における最高の独立峰であると同時に人家、道路がなく、また都市近郊であるにもかかわらず自然が豊富ある。森林再生と環境教育、グリーンツーリズムを結合し、同時に地元の山村の林業や農業の復興も図り、環境に重点を置いた新しい国立公園の再生と地域の活性化を実現する。

② 背景および現状の問題点

和名倉山は荒川最大の水源林であり多様な生物の宝庫であるが、戦後の伐採や山火事の影響で原生林に覆われた昔の秩父の面影はない。我々は11年間この山の再生に取り組んできたが、次のような財政上のネックがあり、大きな運動を展開することができない。

- （1）全山の動植物の調査
- （2）登山口までの林道の補強（崩落がしばしば発生）
- （3）苗木や資材の運搬用モノレールの敷設

③ 政策の概要

- （1）和名倉山を環境特区に指定し、環境に重点を置いた国立公園に再生する。
- （2）1,000ha（放置林優先）を国が買い上げ、国有地とする。
- （3）森林の造林と育林のために官民一体の森林保全隊（20人規模）を設置する。
林野庁の職員、地元の森林組合、NPO
- （4）最初の10年でインフラ（事務局、モノレール、林道、森林保全隊、山小屋、外人の受け入れ体制、情報誌、ホームページなど）を整備し、林業、農業、観光業の総合的な発展に繋げる。

④ 政策の実施方法と全体の仕組み

(1) 計画

- ・和名倉山の森林づくりのグランドデザインの策定
当NPO法人 地元林家有志 埼玉県 埼玉大学 有識者

(2) 調査

- ・適地適木、
- ・動植物 微生物など
- ・定点観測地

(3) インフラ

- ・事務局
埼玉大学秩父山寮を改修し、専従者2名を置く。 グリーンツーリズムの窓口も兼ねる
- ・森林保全隊
地元林家有志・林野庁職員・埼玉県職員・当NPO会員など20名体制
- ・林道
雲取林道の斜面の補強
- ・モノレール
埼玉大学秩父山寮～仁田小屋間に苗木・用具運搬専用のモノレール敷設
- ・グリーンツーリズム
ルートの整備
宿泊施設の設置
＊宿泊施設は昔の作業小屋を復元する。(水の確保が容易)
ガイドの確保(兼管理人)
- ・PR
ホームページ
広報誌

(4) ネットワーク

- ・教育機関
- ・慈善団体
ロータリークラブ ライオンズクラブ
- ・経済団体
- ・観光協会
- ・CSRに関心のある企業

⑤ 政策の実施主体(提携・協力主体があればお書きください)

- (1) 当NPO
- (2) 地元林家
- (3) 埼玉県
- (4) 秩父市
- (5) 埼玉大学
- (6) 埼玉県内山岳連盟
- (7) 埼玉県高体連

⑥ 政策の実施により期待される効果

- (1) 環境重視の国立公園の再生
- (2) 山村の活性化
- (3) 山村の林業・農業の復興
- (4) 外国人観光客の増加（ビジットジャパンキャンペーンの牽引）
- (5) 荒川の水量・水質の向上
- (6) 東京湾の蘇生
- (7) 百年の森づくり運動の加速推進

⑦ その他・特記事項

- (1) どんぐり拾いから植栽まで身の丈にあった活動に参加できる。
- (2) グリーンツーリズムのモデルはアフリカ最高峰のキリマンジャロ（タンザニアのナショナルパーク）。
 - ・ 入山料
安定的な収入源
 - ・ 入山制限
環境への負荷軽減
 - ・ 山小屋、炊事場、トイレのみ設置。
寝具・食料・燃料・炊事道具はポーターを雇って運搬。雇用の創造になる。
 - ・ ガイド・リーダー・サブリーダー・調理人も必要。雇用の創造になる。